

質問回答

平成 26 年 1 月 8 日

「フィリピン国台風ヨランダ災害緊急復旧復興支援プロジェクト(開発計画調査型技術協力)(ファストトラック制度適用案件)」
(公告日:平成 25 年 12 月 16 日)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	業務指示書 10 頁 7.プロジェクトの内容 (3)地形図作成	地形図作成に際して、"既存の DEM"として 1m 等高線作成・水準測量の精度検証に耐えられる DEM が同国で整備されているということであれば、その取得方法(空中写真測量・航空レーザ計測等)および精度・分解能をご教示願います。	フィリピン政府が被災地において航空レーザー計測を計画しているところ、この進捗を確認しつつ、同データの活用を想定しています。ただし、同作業が計画通り進捗しない場合には、Shuttle Radar Topography Mission (SRTM) 等の公開されている既存データを調査し、活用することを想定してください。ただし、「1m 等高線作成・水準測量の精度検証に耐えられる」ものではありませんので、要すれば、別途、DEM 取得の方策について関係機関と協議しつつ進めることとします。以下のリンクをご参考まで。 http://www.philgis.org/leyte.htm http://www.philgis.org/samar.htm
2	業務指示書 10 頁 7.プロジェクトの内容 (3)地形図作成	指示書の(3)地形図作成に記載のある 1996 年に NAMRIA が作成した 1/10,000 地形図がカバーしている範囲をご教示願います。	訂正します。 プロジェクト対象エリアについては 1/50,000 については整備がされていますが、1/10,000 についてはマニラ周辺のみで整備されており、今回のプロジェクト対象地域の範囲外の可能性があります (http://www.namria.gov.ph/Downloads/catalog.pdf)。上記を想定の上、提案ください。

3	業務指示書 10 頁 7.プロジェクトの内容 (3)地形図作成	被害判読図および簡易地形図について、具体的にどのような内容(仕様)を想定していますでしょうか。	「簡易地図作成ガイドライン(平成 18 年 12 月国際協力機構)」に基づき作成願います。なお、今回作成する地形図は、同ガイドラインの「復興レベル」を想定するものとし、衛星画像については、同ガイドラインに基づき、現状取得可能な画像を使用するものとします。同ガイドラインは業務指示書を取りに来られた者に 1 月 8 日中にお送りします。
4	業務指示書 10 頁 7.プロジェクトの内容 (3)地形図作成	作業エリア付近の標定点測量に必要な基準点・水準点は存在するのでしょうか。	標定点、基準点は存在していますが、管理レベルについては調査が必要です。また、台風により影響を受けている可能性があるため、利用可否からの調査が必要となります。
5	業務指示書別紙 第 2 プロジェクトの目的・内容に関する事項・8 ページ 5. プロジェクト実施上の留意点 (18)プロジェクトの拠点	「2014 年 4 月以降のホテルは必要経費を別途見積もりにて計上すること。」と記載されているが、通常の JICA 旅費規程に則って経費を計上し、現地でホテル等の確保が困難だと判断された段階で、貴機構が引き続きホテルを借り続けることを含め、対応を検討することは出来ないか。	可能です。
6	業務指示書別紙 第 2 プロジェクトの目的・内容に関する事項・14 ページ 7. プロジェクトの内容 (10)モデル地域における災害復旧・復興計画の策定	「モデルとなる地方自治体の検討」と記載されているのは、レイテ島サンペドロ・サンパブロ湾岸、およびサマル島南岸地域の中から、モデルとなる地方自治体を選定し、その自治体に対する災害復旧・復興計画を策定するという理解で間違いありませんでしょうか。	ご理解の通りです。対象地域の自治体でやる気のある自治体を念頭におきますが最低でも 4 つの自治体を想定します(対象地域の自治体を、地理的条件等から類型化すると、都市地域、平野部沿岸地域、山間部沿岸地域、半島部沿岸地域に分かれるとの認識、これら地域から代表的な自治体が選定される想定)。

7	業務指示書 P15	『b) プログレスレポート・無償資金協力計画書』 に関して、提出時期は2014年3月となっていますが、3月末という理解でよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。
8	業務指示書 P22	『別紙 1 自然条件調査』に『無償資金協力の検討はスピードが要求されることから、本プロポーザルには見積りを含めること』とあります。この地形測量、地質調査等の自然条件調査結果は、3月提出予定の『無償資金協力計画書』、加えて、予定されている『ノンプロジェクト無償資金協力による詳細設計』に順次反映させるという理解でよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。
9	配布資料 『1220 フィリピン台風ヨランダ災害対応補正無償スケジュール』	配布資料『1220 フィリピン台風ヨランダ災害対応補正無償スケジュール』によれば、JICA から外務省への概要資料提出は2014年1月23日予定と記されています。この『概要資料』については、JICA が作成する、という理解でよろしいでしょうか。	ご理解の通りです。
10	8 ページ (18)プロジェクトの拠点	指示書において、「1日当たり2,900としての経費の計上を認める。」とありますが、こちらは円貨、ペソ貨どちらになりますでしょうか。ご教示下さい。	2900とは2900円のことであり、円貨での積算、精算を行います。
11	8 ページ (18)プロジェクトの拠点	日当・宿泊に関して以下のご質問させていただきます。 2014年3月末まで： 宿泊は現物支給であるため、通常契約に含まれる滞在費の宿泊費は本見積りに計上しないという理解で宜しいでしょうか。 日当は通常契約に含まれる滞在費の日	2014年3月末まで： 宿泊費は2900円/泊を上限として本見積もりに加えてください。 日当は、コンサルタント等契約における「見積書作成ガイドライン」に基づいた日当単価を上限として本見積もりに計上願います(通常契約に含まれる日当単価が上限であり、これに2900円を加えるものではありません)。宿泊費

		<p>当に加えて 2,900 の経費が計上されるのでしょうか。もしくは、通常単価は計上せず、2,900 の計上のみでしょうか。ご教示下さい。</p> <p>2014 年 4 月以降： 宿泊は通常契約に含まれる滞在費の宿泊費を本見積にて計上せず、ホテル宿泊費を別見積にて計上するという理解で宜しいでしょうか。 日当は通常契約に含まれる滞在費の日当単価のみを本見積にて計上するという理解で宜しいでしょうか。ご教示下さい。</p>	<p>は のとおり 2900 円/泊を上限として本見積もりで計上願います。(宿泊費の通常単価は用いません。)</p> <p>2014 年 4 月以降： 宿泊費は通常単価を用いて別見積りで計上願います。 日当は通常単価を用いて本見積もりで計上願います。</p>
12	10 ページ (3)地形図作成	<p>指示書において、「1996 年に(NAMRIA)が作成した既存の 1/10,000 地形図をベースとし、...」とありますが、1/50,000 地形図は弊社でも確認出来ておりますが、1/10,000 地形図は存在するのでしょうか。また、指示書でいう 1/10,000 地形図は本案件の災害復旧・復興計画の策定対象地域をどの程度カバーしておりますでしょうか。ご教示下さい。</p>	<p>訂正します。</p> <p>プロジェクト対象エリアについては 1/50,000 については整備がされていますが、1/10,000 についてはマニラ周辺のみで整備されており、今回のプロジェクト対象地域の範囲外の可能性があります (http://www.namria.gov.ph/Downloads/catalog.pdf)。上記を想定の上、提案ください。</p>
13	10 ページ (3)地形図作成	<p>DEM は災害復旧・復興計画の策定対象地域をどの程度カバーしておりますでしょうか。ご教示下さい。</p> <p>また、DEM について、 DEM データの所在や取得可能性、 DEM が作成された時期、及び作成された目的をご教示下さい。</p>	<p>フィリピン政府が被災地において航空レーザー計測を計画しているところ、この進捗を確認しつつ、同データの活用を想定しています。ただし、同作業が計画通り進捗しない場合には、 Shuttle Radar Topography Mission (SRTM) 等の公開されている既存データを調査し、活用することを想定してください。ただし、「1m 等高線作成・水準測量の精度検証に耐えられる」ものではありませんので、要すれば、</p>

			<p>別途、DEM 取得の方策について関係機関と協議しつつ進めることとします。以下のリンクをご参考まで。</p> <p>http://www.philgis.org/leyte.htm</p> <p>http://www.philgis.org/samar.htm</p>
14	<p>16 ページ</p> <p>(3)その他の提出物</p> <p>e)広報用資料の作成</p>	<p>指示書において、「本プロジェクトの概要と成果の普及のための広報資料を動画(長さは 10 分程度を想定)にて作成し、機構に提出する。」とありますが、動画には日本語を含みますでしょうか。テロップ等動画内にて使用すべき言語につきご教示下さい。</p>	<p>テロップ、ナレーションともに、日本語と英語を想定します。</p>
15	<p>8 ページ</p> <p>(18)プロジェクトの拠点</p>	<p>指示書において、「DPWH の意向等も踏まえ、コンテナオフィスを設置することも想定する。」とありますが、コンテナオフィス整備に係る費用についても別途見積という理解で宜しいでしょうか。ご教示下さい。また、その設置場所に関しては、DPWH から提供、借地料等は発生しないとの想定で宜しいでしょうか。ご教示下さい。</p>	<p>ご理解の通りです。</p>
16	<p>20 ページ</p> <p>4. フィリピン政府の便宜供与</p>	<p>指示書において、「DPWH からのオフィススペースの提供」とありますが、オフィススペース内における家具、機材等も執務環境整備に関する修繕にかかる費用として別途見積にて計上して宜しいでしょうか。ご教示下さい。</p>	<p>ご理解の通りです。</p>

以上